2014年6月14日

自治労北海道本部活動家育成講座

**皆さん方と一緒に考えたいこと**

**自治労北海道顧問・学監　峰崎直樹**

**1,組合員は、労働組合をどのように見ているのだろうか**

頼りになる存在になっているのか　職場での人間関係は、地域活動と職場活動　非正規労働者と正規労働者、男性と女性、管理職と非管理職

**2,私たちが働いている自治体はどうなろうとしているのか**

少子化・高齢化の進展により自治体の崩壊すら予測されている　自治体職員はそれぞれの自治体で信頼されているだろうかいま、自治体の中で何をすべきなのか

**3,世界はどのような方向に動いているのだろうか**

極の無い時代、帝国主義の時代に戻ったのでは　先進国は成熟化、成長力の衰退　途上国の二極化　規制されたグローバリズムへ

**4,日本の政治経済が直面している問題をどう解決していけるのか**

何でもあるのに**、**希望だけが無い国　お互いに信頼できなくなった国　「新しい公共」を市場の中に、行政の中に埋め込めるか。その主体は誰？

**5,活動家は、明日から何を考えて行動していけば良いのか**

1. **責任、誰に　①仲間(家族)　②組織　③国　④世界(地球)**
2. **情熱、知的探求と経験の蓄積**
3. **連帯・連携・ネットワークこそソーシャルキャピタルだ**